



特集記事

「日本パーマメントウェーブ液工業組合
技術委員会雑録史 ①」

理事 小林 均司

巻頭言

第56回総会報告

特集記事

動画制作実行ワーキンググループ報告

技術委員会報告

M G K 便り

事務局だより

編集後記

理事長

田尾 大介

事務局

理事

小林 均司

WGリーダー

村林 茂

技術委員長

岡野 みのる

理事

亀ヶ森 統

JPWIA

日本パーマメントウェーブ液工業組合

巻頭言



日本パーマネットウェーブ液工業組合

理事長 田尾 大介

淡い期待は残念ながらはずれ、今年になっても新型コロナウイルスの猛威は続き、日本社会も今のところは振り回され続けている状況でございます。会員の皆様におかれましても、様々なご苦勞の中での事業活動を推進してこられたものと思慮しております。そのような状況の中、組合運営におきましては、リモート会議等を取り入れながら順調に推進することができましたことを、先ずは会員の皆様のご理解、ご支援に感謝申し上げます。

さて、この夏は東京オリンピック・パラリンピックという世紀のイベントが開幕し無事開催されました。残念ながら無観客での開催となりましたが、大変な盛り上がりとなり、力強くスポーツの素晴らしさを伝えられたのではないのでしょうか。また、新型コロナウイルス感染の蔓延という災禍の中で、国内のみならず世界中に大きな活力と希望を発信できたのではないかと感じております。

理美容業界を振り返りますと、今年は、社会活動が大きく制限された昨年に比べますと回復傾向にあります。Withコロナ時代に適応したサロン経営が、様々な努力により定着してきた成果ではないかと感じております。従業員の衛生管理、感染防御の徹底に加え、お客様の来店時の検温、手指消毒液の用意、来店人数管理なども徹底され、大きな混乱無く、来店への不安も大きく払拭されました。さらに、1回のご来店を大切に的確な提案を行うことにより、お客様の満足度や客単価が上がったというお話しを、数多くの美容室でお聞きすることができました。これらもひとえに衛生管理のプロとして社会的に信頼されていることの表れとして、理美容業界の素晴らしさを実感するものです。

さて、パーマ剤を取り巻く環境は、引き続き厳しい環境の中で、少し期待の持てる変化がございました。当組合では、平成19年(2007年)から独自に出荷統計を集計しておりますが、平成19年(2007年)には化粧品カール剤を含むパーマ剤全体で、出荷額は約160億円だったものが、令和2年(2020年)の実績では約70億円と実に約56%減少となっております。しかしながら、今年の上半期のデータが出ておりますが、化粧品カール剤を含むパーマ剤全体で約36億円となり、金額の昨年同期比(1~6月)で約16%増となりました。特に縮毛矯正剤の伸長が著しく、金額の昨年対比で約27%増となりました。続いて化粧品カール剤も約11%増と好調となっております。昨年は新型コロナウイルスの感染拡大により社会活動や経済活動の制限が余儀なくされ、景気が急速に減退したところでしたが、それでもなお、昨年は縮毛矯正剤の需要が増加しておりましたので、さらに増加傾向が見られたことは、縮毛矯正剤の需要が継続的に拡大しているものとして明るい話題です。

当組合では、厚生労働省にパーマ剤承認基準の改正の働きかけを行ってまいりましたが、令和3年6月28

日付で「パーマネット・ウェーブ用剤製造販売承認基準について」が局長通知として発出されました。同時に承認基準改定に合わせた当組合自主基準も改訂いたしました。今回の基準の改定は、分離申請の第2剤に関して、従来、分類ごとに承認を得る必要がありましたが、第2剤の品質規格はすべてであることから、分離申請の第2剤はすべての分類で共通に使用できるものとして改訂されました。また、合わせて「品質規格におけるヒ素及び重金属試験の省略」「申請時の第2剤の1ヵ月後の酸化力試験の省略」を盛り込んだものとなっております。理美容の現場での使いやすさの向上に加え、パーマ剤流通の合理化推進、開発・製造現場での効率化も大いに図れるものと期待しております。

市場活性化のための広報活動としては、当組合のWithコロナ時代に適応したパーマ活性化の取り組みとして、「パーマスタイル動画」を制作し、6月に配信を開始しました。「ネオウルフパーマ」「ウェーブローブ」というトレンドパーマスタイルをホームページ上でも公開しておりますので、ぜひ、会員の皆様のご視聴だけでなく、会員各社様のホームページやSNS等を通して、広くご視聴いただけるようご案内いたしますと幸いに存じます。

また、当組合の事業活動についての将来計画の方向性を検討するため、7月～8月にかけて会員の皆様に「組合事業活動に関するアンケート調査」を実施いたしました。いただいた結果、ご意見を精査し、今後の組合の事業活動の在り方を検討してまいりたいと思います。アンケートにご協力いただきましたことを、あらためて感謝申し上げます。ありがとうございました。

最後になりますが、現在は品質・安全面での大きな問題も無く、承認基準の改正という規制緩和への取り組みも一段落したところであります。今後はさらにパーマ市場活性化に寄与し得るさらなる規制緩和への取り組みとともに、コロナ禍に負けることなく、パーマの楽しさやメリットをお伝えできるような広報活動に力を注いで参りたい所存です。会員の皆様におかれましても、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、さらなるご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。